

# 目立たないけど、存在感を増す SVC⑤

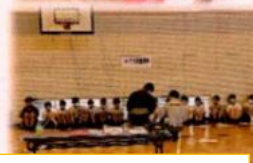


## ほそのっこ防災フェスタを開催しました！

6月20日(金)第2回ほそのっこ防災フェスタを開催しました。今年は6月の参観日に合わせ、学校・家庭・地域全体で取り組むことで、防災に関する正しい知識を身に付け、いざという時の備えと、防災について家族で考えるよい機会になればと考え開催しました。

小学生が、新聞紙でスリッパ作成・防災グッズや消防や警察の車両見学・消火活動・けむり体験・非常食試食・防災DVD鑑賞など、中学生が防災講話・ロープワーク・段ボールベッド作成・AED訓練・ケガ処置体験・けむり体験・非常食試食・車両見学を体験しました。参加者からは「非常食は美味しくないイメージだったが、食べやすくぜひ備蓄したい。どの体験もとてもためになった。」との声が多く聞かれました。

いつ来てもおかしくない災害への備え、学校・家庭・地域が連携して安心して暮らせる地域づくりを目指します。



さくら通信 第99号 R7.7.7 細野まち協 から

## ほそのっこ防災フェスタを行いました

6月20日(金)に「ほそのっこ防災フェスタ」が行われました。昨年度は、土曜日に開催されましたが、児童生徒及び保護者、地域の方々に防災に対する意識をより一層高めていただくこと、細野まちづくり協議会に中心となっていただき、小中学校が連携して参観日に実施しました。当日は、消火器体験、けむり体験、非常食体験等のコーナーをはじめ、消防車両等の見学もあり、子どもたちも様々な経験をすることができました。当日、開催に関わっていただいた方々にお礼を申し上げます。フェスタ実施後の週末には、新燃岳が噴火しました。防災への意識を高め、いざという時にどのように行動すればよいのかということについて学校でも継続して指導していきたいと思ひます。

桜の学び舎細野小 第3号(6/27発行)から



細野中学校だより 7月号

## 防災フェスタを行いました



6月20日(金)の午前中、参観日を兼ねて小中合同の「ほそのっこ防災フェスタ」を行いました。この行事の目的は次の3つです。①講話や様々な体験活動を通して、地震や火災等の非常時の際の行動や対処法についての知識・技能を身に付けることで、災害時に自身の命を守るだけでなく、他者を助ける力も養う。②保護者の方々にも参加してもらうことで、生徒と一緒に防災意識を高め、家庭でも災害時の対応について話すきっかけをつくる。③小学校や地域の方々と連携した活動を行うことで、災害時における協力体制を確立するとともに、地域の一員として防災意識を持たせる。暑い中での活動になりましたが、子どもたちは真剣に講話を聴き、積極的に挙手をし、体験活動(ロープ体験・段ボールベッド作成・AED訓練・けが処置体験・煙体験・非常食体験など)にも進んで取り組んでいました。講話でも話されていましたが、防災の基本は「自分の命は自分で守る」ことです。災害時に現状をしっかりと判断し、自分で決めて行動する力が必要です。災害対策である「自助」「共助」「公助」を今後も意識して生活してほしいと思ひます。今回の活動で子どもたちも多くのことを学び、防災に関する意識が高まったと感じました。ご協力いただきました、細野まちづくり協議会、SVC、西諸広域行政事務組合消防本部、小林警察署、小林市役所危機管理課、青少年育成市民会議細野支部の皆様方、本当にありがとうございました。

以下は、生徒の感想の一部と活動の様子です。

